

「車いす空の旅 沖縄」にボランティアとして参加

神奈川県遊技場協同組合（理事長 伊坂重憲）と神奈川福祉事業協会（会長 伊坂重憲）は、神奈川新聞厚生文化事業団が年2回行っている「車いす空の旅事業」に、昭和60年から毎年300万円の支援を続けてきております。今回も県遊協職員がボランティアとして参加し、障害者やご家族の思い出つくりのサポートをしました。

1. 日 時	平成24年4月12日（木）～ 14日（土）
2. 場 所	沖縄（残波岬、美ら海水族館、琉球村、首里城守礼の門 ほか）
3. 主 催	神奈川新聞厚生文化事業団 フュージョンコムかながわ・県肢体不自由児協会 共催
4. 参加者	肢体障害者15名とその家族及び看護師・ボランティアなど総勢60名

5. 概 要 神奈川新聞厚生文化事業団では、車いす生活をおくる障害者とその家族を招待し、毎年4月に沖縄、9月には北海道へと飛行機を利用して訪れています。

参加者の方は、エメラルドブルーの透き通った海と高い空に感激し、ジンベイザメの大きさに目を輝かせ、琉球村や首里城では沖縄の独特な文化にも触れ、初めて露天風呂にも入りました。突然のスクールで停電になったこともよい思い出。夕食会では島の歌をみんなで歌い踊りました。全てが夢のようなひと時だったと感激されていました。

私たち健常者にとっては容易なことかもしれませんが、しかし障害者の方にとって困難なことがたくさんあります。縁の下で、そして汗もかき、常にやさしい心で…まだまだ私たちはこの思い出つくりのサポートを続けてまいります。

なお、この「車いす空の旅」については、4月13日付及び4月15日付神奈川新聞にそれぞれ掲載され、5月1日には神奈川新聞紙上に特設ページが設けられ、掲載されました。



ヒトデや海鼠にも触れました



獅子舞は愛嬌者チョンダラーの口笛が合図

※ この活動は、第4回（平成20年度）社会貢献団体機構の組合部門優秀賞を受賞しております。

http://ajosc.org/honoring/2008_02.html#3

※ 神奈川新聞厚生文化事業団ホームページ

<http://www.kanagawa-shimbun.jp/information/associatedcompany/kouseibunkajigyou.html>